

10月29日の土曜日に十津川村を経由する、日本一長い路線バスに再乗車しました。

10月20日（木）に高山本線に乗車したので、高山本線再訪と今回の十津川村再訪とどちらにするか迷ったが、間の空いた？十津川村にする事にした。最近、世間一般で評判が悪い「鉄」と同じ位不快さを感じさせてくれた「バス」、バスマニア、バスファンと一緒にになった奈良交通八木新宮線のバスに、今度は気持ち良く乗りたいというのもあった。八木新宮線のバスに大和八木駅から乗車すると新宮駅まで完乗しても中京圏在住者も関西圏在住者も日帰りができる。前回はこのルートを採択したが、日帰りできる分、座れなかった訳ではないが混んでいた。逆に新宮駅からの乗車は前日泊をしないと乗れない。土曜日の新宮駅からの八木新宮線は大して混まないと読んだ。これはほぼ予想が当たった。「ぼぼ」は十津川温泉から大和八木駅行きのバスはそれなりに乗っていた点が自分の予想と少し外れた。十津川温泉から乗車した大和八木駅行きのバスは新宮駅10時18分発の特急やまかぜであり、新宮近隣で宿泊して朝ゆっくりしてから乗車できるから多少は乗っていたのだろう。この新宮駅を3番目に発車するバス（特急やまかぜ）であっても中京圏、関西圏から始発で出かけても間に合わない。いやー新宮は遠いわ。新宮市は一応は関西圏の和歌山県なんだけど。関西圏から始発で新宮駅へ最も早くに到着するには近鉄特急で松阪まで来て、松阪から特急南紀に乗るという、、、紀勢本線、何とかならんのかと思った。

新宮駅界隈の宿泊先はじゃらんと楽天から探した。ま、風呂入って寝るだけなので何処でも良かったが過去の体験（広島）から喫煙の部屋ではなく禁煙を希望を必要十分条件にしたが意外と無い。名古屋とかだと喫煙の部屋を探す方が難しいのに。。。地方は喫煙可能な部屋を持つ宿泊先が多いのか？新宮高校前にある宿でも良かったが新宮駅から20分近く歩く事、新宮高校前でも八木新宮線のバスに乗れるが始発のバス停の方が確実なので新宮駅界隈で禁煙の部屋があるところにした。金曜日宿泊限定のクーポンが適用された事で300円マイナスで予約した。

金曜日の夕方に職場を出るが、またスリッパ忘れた。東海道新幹線も在来線特急も近鉄特急も長時間乗車しないのが原因か？職場では15時1分にパソコンの電源をオフにすると15時13分の丸の内線荻窪方面に余裕で間に合った。今後もこの手は使えるな。新宿駅では中央線快速電車は2分から3分遅れていた。15時20分発の、本来乗る予定だった1本前の快速電車に乗車できた。おかげ？で東京駅では15時48分発ののぞみ403号に乗れた。この403号の方が僅かではあるが次の列車である15時51分発のぞみ97号より名古屋までの所要時間が3分短い。ネットの乗り

換えサイトでは職場からだとのぞみ97号がヒットしたが、時刻表を見るにのぞみ403号は臨時列車だった。臨時列車だったり続行運転だったりする場合は見極めによっては空いた車内を味わえるので、自由席の場合は、出発時刻をよくよく検討するが大事と思った。

名古屋では名古屋17時37分始発伊勢市19時15分着の伊勢市行き2919D快速みえ19号に何とか座れた。座席は転換クロスシートで後ろ向き固定となる席だったので、ボックスシートに座ると同じになったが、ま、平日の通勤時間帯だし、名古屋を離れるに連れて空いていけよう。永和駅でコンテナの貨物列車と交換する。貨物列車が停車していたのでこちらは通過で良いのではと思ったが、運転停車した。右隣のオッサン、ツマミの味噌カツとカップ酒を嗜んでいるが、今の時間帯だとこれは通勤列車だぞ。もう少し考えろよ。桑名では先行の普通亀山行きを抜くがなんと階段での乗り換え。隣のホームで乗り換えとはいかんのか。

四日市でかなりの降車がありだいぶ空いてきた。この頃、三日月前の月が西に見えた。三重県でのJRは近鉄と同じで中核都市で乗降がある。この時間だと名古屋から見て下り方向なので降りる人が多いけど乗る人もいる。四日市も伊勢鉄道伊勢線の鈴鹿も乗車があった。鈴鹿の時点でかなり空いてきたので車掌さんが鈴鹿と津の間で車内改札を行う。車内改札は積極的に実施して欲しいと思う。津を過ぎた所で松阪の手前でほぼ月が傾いた。

多気で新宮行きに乗り換えても良かったが、松阪で乗り換えても同じなので松阪で乗り換える。乗り換える新宮行きは津と松阪の間の高茶屋(9分間停車)で自分が乗った快速みえに抜かれている。

亀山17時58分始発新宮22時43分着の新宮行き339Dに乗車することにした。松阪ではファミマでお酒を買おうと思い、階段を上がって連絡通路に出たら、発車案内でちょうど近鉄特急宇治山田行きが来る事が分かり、近鉄山田線側にあるトイレに寄るついでにかこつけて特急列車を見物する事にした。この近鉄名古屋から宇治山田行き特急は先頭から22000の2両編成と12410系の4両編成の6両編成だった。この編成は翌日、帰り道の近鉄名古屋駅でも見かけることになる。それにしても松阪駅のファミマは混み過ぎだった。JR側の売店が時刻的(18時50分頃)に閉店したからだろうか。ビールを買うのは諦めた。

新宮行き普通列車は松阪を18時57分に出発する。通勤通学列車なので着席している人もかなりおり、お酒無しで正解だったか？またこの列車は列車番号のとおり車

掌さんが乗ってる（Cはワンマン運転、Dは車掌さん同乗）。松阪の次の徳和でも高校生が乗降、見ていると乗車の方が多い。車内の人も増えてきた。多気では24分間停車する。ここでは、多気始発の伊勢市行き、伊勢市からの亀山行き、新宮からの多気行き、紀伊勝浦からの特急南紀名古屋行き、と自分が乗っている新宮行きが集まる。特急南紀は2両編成だった。停車中に缶ビールを調達し新宮行きの出発を待つ。

多気の次の相可ではまたまた高校生の乗車があり、ついに立ち客も出た。自分の車輛から降りたのは若い男性1人だった。佐奈では乗降無しだったものその次の栃原で三分の一位が下車する。下車した高校生は大半が、保護者が車で迎えに来ている。栃原は珍しく見える母と小学生娘の二人も下車した。珍しく見えるは「母」位の年齢だと自家用車ではと自分が勝手な思いをしたからだ。川添でも高校生が下車する。少し遅めの時間帯だが、高校生の通学列車の様子だ。

少し記憶が確かではないので、、、栃原か川添から変な中年男性が一人乗車する。その男性は滝原の次の阿曾で下車した。三瀬谷でもかなりの下車があった。無人駅とはいえ特急停車駅であり、周りにはスーパーやコンビニも見えるからそれなりの人口があるのだろう。同じ車輛から初老の女性が下車する。あまり記憶はないのだが、乗客が減ってきた、三瀬谷を過ぎたあたりからビールをいただく事にした。カーキ色のブレザーの制服の子が引き続き乗車している。あの制服の高校は津ではないかな。

三瀬谷の次の滝原で下車した高校生は車掌さんが来るのを待ってから駅を出ている。ちゃんと定期券を車掌さんに見せているのか。ここ滝原ではワンマン運転の列車と交換する。阿曾では栃原か川添から乗車した、変な中年男性が1人下車する。

阿曾の次の伊勢柏崎は乗降記憶無し。大内山手前の時点で仕事風の男性3名、1人は若い作業服、1人はネクタイ、が目につく。大内山も乗降の記憶無し。次の梅ヶ谷で1人、しかも高校生でない男性が1人下車する。ここ梅ヶ谷駅は以前昼間に下車した事があるのだが、お店とかは駅前になく、駅近くの神社、官舎みたいな集合住宅、国道42号線沿いの僅かな集落しかなく、熊野古道伊勢路の最寄だが食糧調達などは叶わない。昼でも寂しいところで、人家が殆ど無い事からこんな所で降りたら露頭に迷うなというか精神的に来そうだ。降りた人はどんな、どこの、人か？とにかく気になるわ。42号線を峠のある紀伊長島方向に登っていくとラブホもあるけど、その関係者だったりして???

梅ヶ谷と紀伊長島の間は伊勢国と紀伊国の国境であり、紀勢本線最高地点の梅ヶ谷

から海辺の紀伊長島まで列車は下ってくる。ここ紀伊長島では高校生らしきはほぼ下車した。松阪から足掛け2時間の通学時間帯は終わった。くだんのカーキ色のブレザーの制服の子は2時間以上の乗車だったが寄宿生だろうか。週末は自宅のある紀伊長島へ戻る???それとも毎日津の高校まで通っているのだろうか。朝方を調べてみたら紀伊長島6時17分発だと津は8時16分着なので登校にギリギリではないか。

紀伊長島を少し過ぎたら国道42号線にファミマが見える。やっとネオンが見えた。そして高校生の乗客がなしになったら車内改札が始まった。終着の新宮までの間、もう一度車内改札があったが二度目は車掌さんも覚えているのか、自分にはスルーだった。

紀伊長島の次の次の船津手前にはラブホがある。前回の10月15日にここ紀伊長島と尾鷲の間を通過した時は寝ていたので今回は起きている事により色んな面が見えてくる。この船津駅で紀伊長島行きワンマン列車と交換する。船津の次の相賀の手前にはスーパーがあり少しだけだがライトが見える。この相賀は開業当初の駅舎であり下車してみたい気もした。

尾鷲には流石にファミマとイオンのネオンが見える。ここ尾鷲駅ではネクタイ姿の男性と、作業服姿の男性と、リュックの男性の3名が降りて中年男性が1人乗車した。大曾根浦から九鬼の手前はトンネルが続く。なんと三木里で高校生らしきが1人下車する。やはり、迎えには車が来てた。前回の10月15日にコミュニティバスが待機していたのはここだな。もう夜の10時だが高校生が利用するのか。

新鹿に到着する手前で1両目のトイレへ行き1両目の状況を確認する。男性が1人だけ乗っていた。その新鹿で1両目に唯一いた男性が下車する。熊野市駅手前で自分を含めて4名が乗車していた。うち1人が尾鷲からの中年男性で残りは髪の薄い男性と若い男性だが、残りと言った2人は多気からの乗車ではないかな。

熊野市駅手前にローソンが見える。流石に三瀬谷、尾鷲、熊野市駅の特急停車駅は何らかのネオンがあるな。同じ特急停車駅でも多気、紀伊長島はネオンがなかった。熊野市駅では多気から乗車の若い男性がついに下車。多気から新宮まで乗車は自分を含めて2人か!髪の薄い男性と自分になった。熊野市駅では高校生位の若い男性が4名乗車する。ここではワンマン運転の紀伊長島行きとすれ違う。3人乗っていた。熊野市駅を出て直ぐ右側にビジホが見える。やはり特急停車駅は違う。

前回の10月15日に続いて今回も新宮から多気（多気から新宮）の間の普通列車に乗車したが、15日の夕方に乗車した新宮から熊野市駅の間だけが陽がある時間帯で、他は暗闇の中だった。やはり伊勢国と紀伊国の境である三瀬谷と紀伊長島の間が凄すぎると感じた。何せネオンが見当たらない。

尾鷲から乗車の中年男性は神志山で下車した。その神志山では先頭車両に男性が1名乗車。紀伊市木で熊野市駅からの4名のうち1名が下車。阿田和で熊野市駅からの若い男性3名下車。これで熊野市駅から乗車の若い男性4名が全て列車から去った。

神志山から乗車の男性は紀伊井田で下車。いよいよ髪の薄い男性と自分だけの2人だけになり、その2人が多気から新宮まで乗車となった。新宮の一つ手前の鵜殿では海側にビジネスホテルサンライトが見える。ここはネットではヒットしなかったと思う。

熊野川を渡り、いよいよ新宮に到着。髪の薄い男性と自分が下車だが、髪の薄い男性は座ったまま半分熟睡状態。乗ってきた列車は熊野市行きとして折り返す。新宮23時02分始発熊野市23時34分着の熊野市行き344Dだ。時刻表見たらきのくに線からの普通列車と接続する。紀伊田辺20時35分始発新宮22時59分着の新宮行き2347Mだ。ただ、自分は早めに体を休めたいので、早々に新宮駅を去り、本日の宿泊先に向かった。新宮駅は有人駅であり、途中下車扱いにしてもらう。改札を出たところで清掃している男性と目が合い、挨拶してくれたので自分も挨拶する。

新宮駅前はライトが少なく人も殆どいない。駅前広場のベンチで若い女性2人が談笑していた。踏切を渡ろうとしたら、なんと、明日の特急くろしおに充当されるだろう編成が転線している。少し踏切で時間を取られたが転戦を見ただけよしとしよう。転線で踏切にかかるは四国の松山駅がそうだったな。踏切を渡り立派な家々を見ながら新宮市役所近くのホテルへ向かう。案内も殆どなく何よりも街灯が少ない。しかも人通りも少ないし、少し怖い。このままホテルへ。途中で赤提灯が2軒か3軒あった。もちろんまだ開いていた。地図を頼りに今晚の宿泊先に到着。宿は廊下や部屋に余裕があった。今まであまり見た事が無い作りだ。部屋の中に動きやすいスペースが設けてあるのはポイントが高いと思った。この宿を選定した最大の理由として、禁煙の部屋だったというのがある。本日の到着時刻は23時前後とはいえ、風呂に入って寝るだけとはいえ、過去に広島の新井口駅近くで宿泊した宿が喫煙室でえら

い思いをしたので（窓を3時間位開けたままにして、空気を入れ替えた）、禁煙室の宿を探したのだが、地方のせいか？喫煙室の宿の方が多く、ほぼ、ここしか選択肢がなかった。

いよいよ29日の土曜日、当日になった。

目覚ましをかけておいたが5時少し前に目が覚めた。僅かな滞在時間だったが、この宿は部屋と廊下に余裕をもたせた設計にしてあった。少し余裕もってホテルを出る。過去にも朝早くにホテルを出た事があるが、今回もフロントは誰もいなかった。ホテルは新宮市役所のほぼ前だがあまりにも静かすぎる。ホテルから新宮駅への道のりは豆腐屋の電気が付いていた事位か。街灯も少ないし、ホント不思議な感じ。駅近くでも商店街も無いし、普通の住宅が連なる。昨夜新宮駅からホテルまで歩いた時は点々と飲み屋のネオンがあったが勿論、今朝はネオンが無い。西の空を見上げるとオリオン座が、東の空は少し明るくなってきた。

駅前には誰もいない。5時30分頃には駅舎のドアが開き、熊野市駅からの昨日自分が松阪から新宮まで乗車した車輛（編成というべきか）が到着した。熊野市駅5時13分始発新宮5時44分着321C新宮行きだ。昨日見かけた新宮23時02分始発熊野市23時34分着の熊野市行き344Dが熊野市駅から始発として戻ってきたのだ。この列車から2、3名の下車があった様子だ。少なくとも1名の男性の下車があった。自分のほぼ目の前を横切ったから。新宮駅の多気側の踏切は列車の転線に使う様子で、きのくに線の紀伊勝浦方面の普通電車と名古屋行き特急南紀のディーゼル動車が入換をする。南紀は2両編成だった。そういえば昨晚はくろしおの特急電車も転線していたな。

真っ暗だし、駅前に誰もいないし、バスがホントに来るのか不安はあったが、バスは出発時刻の4分前にやってきた。定刻の5時53分に出発。乗車は自分だけ。これからどんどん明るくなる。少し走って新宮高校の辺りを通過する頃には暗さを感じなくなった。

宮井大橋バス停で2名の男女が乗車。どちらも初老で夫婦ではなかった。渡瀬温泉バス停で、宮井大橋から乗車した男性が下車する。わたらせ温泉ホテルへの通勤の様子だ。

湯ノ峰温泉バス停で、宮井大橋から乗車した女性が降車する。近くの湯の峯荘は2

週間前も満室の表記になっており、土曜日宿泊は人気の様子だ。

また乗車は自分1人だけになった。熊野本宮大社に着く前は雲海もどきの霧が多かったが日が昇るにつれて霧は消えた。今日も良い天気になりそうだ。

大日越登り口バス停で中年女性が1人乗車。この人はとにかく荷物が多かった。膝の上にスーツケースを置いてパソコンを取り出した。パソコン好きなのか？例によって荷物の多い人物は落ち着かないの典型的なパターンだった。この女性は奈良交通の十津川温泉営業所で奈良交通の社員さんが提案する前に荷物の預かりを頼んでたので一見さんではなさそうだ。

山道に入る頃から車酔いか、気持ち悪くなり、耐える。なんとか十津川温泉まで到達できた。ここで乗り継ぐバスの待ち時間で40分程ある。奈良交通十津川温泉営業所では待合室に人も少なかった事もありベンチで15分位横になった、かなり楽になった。昨日の睡眠不足も影響あったかもしれない。待合室に玉置神社行きバスへの乗車のお客さんが集まってくる。奈良交通十津川温泉営業所の方は荷物は預かりますよの案内をしていた。男女同数の計6名が週末祝日限定の玉置神社行きバスに乗る様子だ。自分と大日越登り口バス停からの中年女性以外の4名はここに宿泊したはず、としか考えられない。自転車やオートバイ、自動車といった移動手段を持っていればバスには乗らんだろう。

玉置神社は神がかっていた。瞑想にふけったりしているのが2組、念仏を唱えたりしてるのが1組、近寄るのは避けた。せっかくだし400円払ってアサヒスーパードライをいただく。うーん、ちょっと高いけど、ま、仕方ない。それにしてもタバコくわえたままの接客って30年間進歩しとらんのか。昭和の頃の風習だぞ。

帰路のバスの前に運転手さんに少し聞いてみた。予約の時、祈祷とかではないかと聞かれたが、、、に対して往復利用が前提なので、まずはその質問をするのですよ、信仰内容によっては日帰りの往復では時間が足りない場合があるそうで、それに該当しないか聞くそうだ。ところが、、、帰路だけの利用の初老の女性が2名加わる。宿坊とかあるのか？それとも朝早くに自分の脚で登り帰りはバス？週末限定バスだから宿坊であっても土曜日の前にどうやって到達？タクシーか？玉置神社の駐車場から折立へ徒歩4キロの案内板があった。下山道として使えるわ。折立にバスが停まるのは分かっている。

十津川温泉までの帰路は少し寝た。十津川温泉界限ではスーパーでお土産の蒟蒻を買った位で時間が余ったのでタオルを購入し、お風呂に入る。ちょうど玉置神社で缶ビールもいただいたし、お酒を抜くには良いだろう。

玉置神社から下山した8名のうち、7名がおなじ大和八木行き「やまかぜ」に乗車。残りの1名であるバス車内でパソコンをいじっていた中年女性は大日越登り口から十津川温泉までの乗車で、奈良交通の十津川温泉営業所で荷物を預ける時に午後の新宮駅行きに乗ると言っていた。恐らく自分達より1時間近く後のバスだろう。

元々からの乗客と共に7名がバスに合流し大和八木を目指す。十津川温泉から五条駅までは地図を見る限りは進行方向左側に河川がある事が多いので、ハイデッカーの進行方向左側に座る。2週間前と比較して今回の乗客は比較的まとも？だった。問題のある行動をしているようには見えなかった。十津川温泉より前からフランス人も3名乗車していて彼・彼女たちは五条駅を超えて引き続き乗車していた。

上野地（谷瀬の吊り橋）で休憩する。今度は吊り橋を渡り切る、往復する。

乗ったバスは「やまかぜ」、特急なので一部バイパス経由、旧道を通らない。2週間前の旧道経由のバスの方が道筋としては迫力があつたように思う。2週間前と異なりバイパス経由、新道の進行方向左側、西側は斜面の地肌が出ている所が少ないと感じた。あと吉野の西という事もあり天武天皇を筆頭にゆかりの場所の様子だ。改めて168号線に沿う熊野川、丹生川といった川の流域を眺めると山間が深いせいか、電源開発の発電所とダムが目立つ。大井川や黒部川のミニ版か？

五条の市街である野原から渋滞が始まった。国道24号線と168号線の合流する、右折のところで引っかかった。結局、6分の接続で乗り継げる和歌山線の和歌山行きには間に合わなかった。

駅構内にある売店で柿の葉寿司を購入する。ここの店員さんはホント親切だった。自分の荷造りが少しうまいかない様子を見て紙袋をくれたのだ。しかも縦にしても形が崩れないとまで教えてくれた。

15時30分の列車で高田へ戻っても良いが15時36分の列車で和歌山方面へ向かう。五条15時36分始発和歌山17時06分着の和歌山行き1467Mに一駅だけ乗車

する事にした。柿の葉寿司を購入したあとベンチに座っていたらちょうど新宮行きのバスを見かけた。ここを15時06分に出て新宮駅に到着するのは20時22分だな。少し遅れていた様子だ。時刻表を見ていたら新宮からだの大和八木まで日帰りで往復できるわ。五條（五条駅）なら2時間半の滞在ができる。

五条の次の大和二見には15時38分に到着。五新線のアーチや五條新町を見物するが通るが人の少ない事。大和二見駅で和歌山14時55分始発五条16時21分着の五条行き1460Mを待つ。自分が和歌山行き1467Mを下りた時に待合室にいた高校生位の男子は次の王寺方面行き（自分が乗る列車と同じ列車）を待っていた様子だ。この駅は元々は2面2線の対向式ホームだが、五条駅から近い割にはしっかりとした構造になっていた。隣の駅までの距離が大したことないので停留所タイプの駅かと思っていたが違っていた。五条駅も同じだがここ大和二見駅もホームの嵩上げが。客車牽引の蒸気機関車が走っていた事の証かも。実際に五条の隣の北宇智が過去にはスイッチバック構造になっていたし。

16時18分に五条行き1460Mに乗車するが、一緒に乗って来たアラフィフの男性、運転士に交通系カードの質問をしていた。そのせいで少し出発が遅れたか？ちなみにその男性、高田で降りた時、予想通り自動改札で引っかかっていた。せっかくの制度も使える人間が理解していないと「使えない」の典型かと思った。やはりなんか変なんだよね、この男性。このあたりは普通の人ならクルマの方が便利だと思うけど、、、コア？な鉄道の普通列車に乗るのは。。。そういえば2週間前の五条駅から新宮駅への路線バス、八木新宮線も変わり者が乗ってたな。ま、どこにでも変なのはいるし、自分もそう見られているかも。これは鉄に限らんわ。

乗った普通列車は五条までなので対面で高田方面へ乗り換え。五条には16時21分に到着。和歌山線は殆どの列車が五条駅で運行が分断されているようだ。車輛も同じ形式だし直通運転でも良さそうだが。ちなみに乗務員もここを境に分かれている様子だ。

五条16時30分始発王寺17時22分着の王寺行き460Mに乗車する。16時30分に出発した。五条を出て次の北宇智、さらにその次の吉野口、と駅間が長い。ま、山越えだし。特に北宇智と吉野口の間が長い。北宇智は良く良く眺めたらスイッチバック時代の遺構があった。駅舎こそなかったがかって存在した駅側の線路も引き上げ側も線路も残っている。

吉野口では橿原神宮前方面行きの近鉄の列車とほぼ一緒に入線。この近鉄の列車に乗り換えても名古屋到着は同じだが乗り換え時間が3分しかない。吉野口では5分間停車する。あまりの眠さに吉野口から15分程寝た。高田のふたつ手前の御所で目が覚めた。目をつぶり御所の次の大和新庄で起きる。

高田は17時04分着。高田駅で出口の案内を見たらちゃんと近鉄の大和高田駅の表示がある。Googleマップ、いい加減にしろよ。高田駅の東口から王寺方面への線路沿いに道があるのに、Googleマップにはその道が載ってないわ。

高田駅から徒歩で到着した大和高田駅のファミマに赤福はなし。大和八木駅で赤福購入にかける。慌てて乗車券を購入したが、乗車券を購入したところは大阪上本町方面のホームは段差無しの目の前だが伊勢中川方面のホームは反対側で、ホームからホームへの移動で階段を使って小走りした。

大和八木駅のファミマでも赤福は売り切れ。仕方ない、次の名阪甲特急ひのとりでのプレミアム席をチェックする。前日まで空いていた最前列は名古屋側も大阪側も完売。ひのとりはプレミアムの方が先に完売する傾向がある。絶対数が少ないのもさることながら、追加料金以上の、見合った価値があると思う。ひのとりでのプレミアムでなければ近々に乗れる汎用特急で阪伊乙特急があり伊勢中川乗り換えの名古屋行きを選ぼうとしたらネットでも自動券売機でも大和八木から名古屋までは買えない。伊勢中川駅で乗り換えの最中に後続の名阪甲特急ひのとりに抜かれるからだろう。一旦改札を出て窓口で特急券購入する。窓口氏には喫煙ではなく禁煙をお願いしたが誤認した様子だ。このあとの特急の方が名古屋には早く着くの案内もあったが構わないと伝えた。特急券を見ると、事前に時刻表を調べていた区間（大和八木から伊勢中川）は伊勢志摩ライナーであるは分かっていたが、伊勢中川から近鉄名古屋の間も伊勢志摩ライナーだった。

乗った特急は大和八木を17時42分に出発する
1703レ鳥羽行き阪伊乙特急伊勢志摩ライナー
と伊勢中川乗り換えで
7714レ近鉄名古屋行き名伊乙特急伊勢志摩ライナー
で、近鉄名古屋駅には19時43分に到着する。

鳥羽行きの進行方向に喫煙室があるも利用者は少ない。伊勢中川では18時34分着、18時39分発で5分間の乗り継ぎ時間があるが、ここ伊勢中川でも赤福は売り切れ。仕方ない、名古屋にかけろしかないか。近鉄名古屋行きの進行方向に喫煙室があるが、こちらも利用者は少ない。すぐ側に白子から四日市の短距離利用者がいる。三重県は中核都市が分散してるからだろうか、短距離の特急利用者がいる。あと小田急線と比較して特急以外の列車が少なく特急誘導？、特急優先のダイヤが組まれているからか、どうしても特急に乗ってしまうわ。

近鉄名古屋には4番線に19時43分に到着し、降車ホーム側へ降りる。東海道新幹線乗り換え口の方まで回って5番線へ。入れ替わりに5番線から19時45分の特急賢島行き名伊乙特急が出発する。この賢島行きは昨日、松阪で見た編成だわ、22000系の2両編成と12415の組み合わせだ。

20時00分発のひのとり（大阪難波行き名阪甲特急）

20時10分発の22000系の4両編成とビスタカー（松阪行き名伊乙特急）の発車メロディの動画を撮影したが、どちらも肉声の案内放送と被った。残念。

赤福は近鉄名古屋駅のファミマで問題なく購入できた。

帰路の東海道新幹線は名古屋20時29分発の豊橋に止まるひかり号にした。ホームに上がったタイミングで20時23分のもぞみ号にも乗れたが、自由席の位置まで到達してないので乗車してから自由席まで移動して着席できるか保証が無い。後続のひかり号は自由席も多いし、しかも急ぐ必要もない。豊橋で後続の2本のもぞみ号を退避。豊橋からの乗車より豊橋までの乗車が多い。名古屋から豊橋への通勤ライナーみたいな感じかも。豊橋から新横浜はノンストップ。車内販売の人指輪してるけどこんな不規則な、ハードな勤務で結婚されてるのか。残念ながらお弁当は売り切れ。

今まで気付かなかった。まともに払う場合、新横浜から横浜線、町田経由の方が安価だ。ただ、横浜線は座れない可能性が高いし、、、小田急線も快速急行だと座れないかもだ。東京駅からだと中央線は始発なので大概座れるし、小田急線も上手くいけば急行に座れる。着席保証なら東京駅経由の方が良いかな。

今回、八木新宮線の路線バスの乗客に、変わったのがいなかったのが大きかった。全般的に気持ちいい旅行をさせてくれた。十津川村の何処かに宿泊する事で、もう一度この路線バスに乗っても良いかなと思う様になったわ。平日に行きたいが、平日こ

そ自分みたいな変わり者が多い感じもするわ。

以上